

| 種別   | 本年   | 昨年同期 | 対比  |
|------|------|------|-----|
| 火災   | 6件   | 9件   | △3  |
| 救急   | 564件 | 524件 | +40 |
| 救助   | 4件   | 3件   | +1  |
| へり誘導 | 19件  | 13件  | +6  |
| その他  | 14件  | 7件   | +21 |

# Monthly 木曾消防

No.214

編集 下條貴・丸山  
 発刊 木曾消防署  
 令和3年6月1日



## 第36回危険業務従事者叙勲伝達式

5月28日(金)当消防本部において、危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)を受章された元消防次長の  
 下村清さんに、谷口消防長から叙勲の伝達を執り行いました。

同章は著しく危険性の高い業務に精励し消防力の強化、充実などに功労された方が受章されます。

下村さんは愛知県の名古屋市消防局にて16年間勤務され、平成元年から、旧木曾広域行政事務組合消防常備化準備室の係長として、消防常備化基本設計を担うとともに、消防庁舎建設、無線中継局建設、条例・規則等の制定など、平成3年4月1日の木曾広域消防本部発足に向けご尽力いただきました。当消防本部の職員としては、3人目の受章となります。



## 消防職員有志による寄附金を贈りました!

5月31日(月)長野県立木曾病院のDMAT(災害医療支援チーム)の救急車購入のため、クラウドファンディングにて資金を募っていたことから、同車両の購入費の一部に役立ててもらおうと、当消防本部の職員有志に寄附金を募り、谷口消防長から濱野病院長に10万円を贈りました。

長野県立木曾病院は、県の災害拠点病院にも指定されており、今後とも、地域住民の安全安心を守るため、災害・救急医療における連携を緊密にしていきます。



## 消防団火災想定訓練

5月9日(日)木曾町消防団と上松町消防団の火災想定訓練を各町内で実施しました。訓練には木曾町150名、上松町90名の消防団員が出動し、実災害での活動や連携要領などを確認しながら実施しました。

火災発生時、現場によっては活動内容や連携要領も変わります。多種多様な現場に対応できるよう訓練を実施していきます。



空気が乾燥しています。火気の取り扱いには十分注意しましょう!  
 全国統一防火標語 「おうち時間 家族で点検 火の始末」

